

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日本12月景気ウォッチャー調査)

2019/1/11

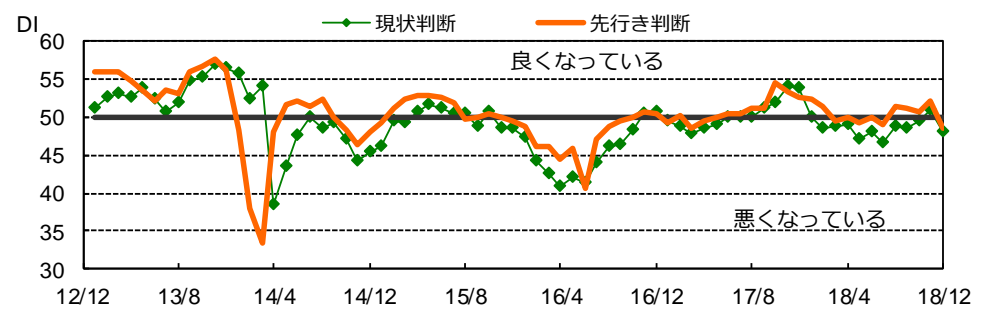
りそなホールディングス 市場企画部

〇概況

- ◆ 12月景気ウォッチャー調査、基調判断は下方修正
- ◆ 現状判断DIは3か月ぶりに低下し50割れ
- ◆ 先行き判断DIは海外情勢や金融市場への懸念から低下

- ✓ 景気の現状に対する判断DIは48.0となった。家計動向関連、企業動向関連、雇用関連のすべてのDIが低下したことから、前月を3.0ポイント下回り、3か月ぶりの低下となった。
- ✓ 2～3か月先の景気の先行きに対する判断DIは48.5と6か月ぶりの50割れ。国際情勢の不透明感や株安への懸念がみられ、家計・企業、雇用関連すべてのDIが低下。
- ✓ 現状判断では、「気温の高い日が多く冬物衣料の売れ行きが悪い」（近畿：百貨店）や「原材料価格、人件費も上がっているが商品原価を上げられず厳しい」（甲信越：食料品製造業）などのコメントがみられた。先行きについては「世界情勢は不透明で不安感が漂っている」（近畿：スーパー）や「世界的な株安は少なからず影響を受ける」（九州：金属製品製造業）など経済先行きや株安への不安が目立つ。
- ✓ 12月の景気ウォッチャーの見方は、「緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。先行きについては、海外情勢や金融資本市場の動向等に対する懸念がみられる」とまとめられた。

【景気ウォッチャー調査の推移】



出所：IN情報センター

【景気の現状判断DI(季節調整済)】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月差
合計	46.6	48.7	48.6	49.5	51.0	48.0	▲3.0
家計動向関連	44.8	47.4	47.1	48.9	50.6	47.6	▲3.0
小売関連	46.0	46.9	48.0	48.2	48.7	46.0	▲2.7
飲食関連	41.1	46.5	45.6	49.5	52.2	48.7	▲3.5
サービス関連	42.4	48.3	45.7	49.5	52.9	49.8	▲3.1
住宅関連	50.0	49.4	47.1	52.2	56.0	51.0	▲5.0
企業動向関連	49.0	50.8	50.5	49.7	50.0	47.3	▲2.7
製造業	48.4	50.1	48.1	49.2	50.2	47.2	▲3.0
非製造業	49.4	51.6	52.3	50.3	50.2	47.8	▲2.4
雇用関連	53.1	52.3	54.0	53.2	55.3	51.8	▲3.5

【景気の先行き判断DI(季節調整済)】

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月差
合計	49.0	51.4	51.3	50.6	52.2	48.5	▲3.7
家計動向関連	48.4	51.2	50.8	50.9	52.5	48.7	▲3.8
小売関連	48.1	51.3	50.7	50.4	51.9	48.4	▲3.5
飲食関連	47.1	46.6	49.0	50.7	53.9	46.1	▲7.8
サービス関連	49.1	52.2	51.2	51.8	52.9	49.8	▲3.1
住宅関連	49.1	51.8	51.8	51.7	54.0	49.3	▲4.7
企業動向関連	49.1	51.4	52.1	49.1	50.2	46.8	▲3.4
製造業	49.1	51.6	51.7	49.4	50.1	45.2	▲4.9
非製造業	49.1	51.2	52.5	48.8	50.6	47.8	▲2.8
雇用関連	52.6	52.7	52.5	51.8	54.2	50.7	▲3.5

【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。